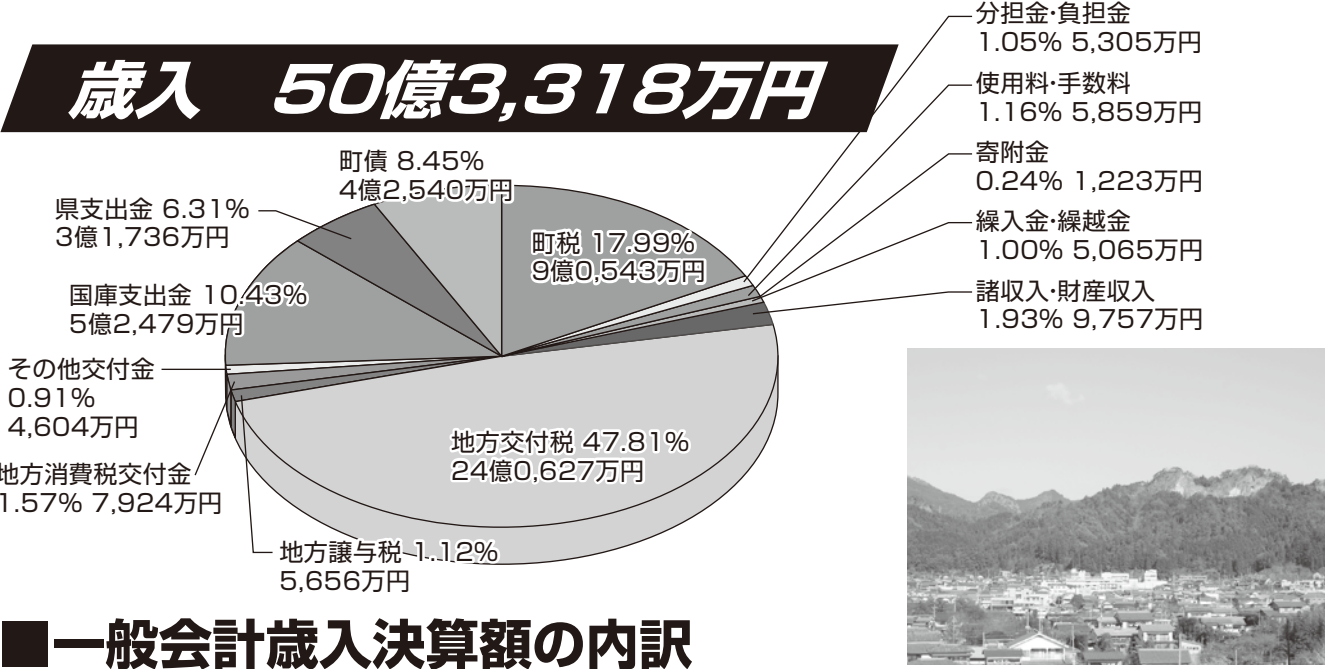


平成25年度下仁田町の財政状況をお知らせします

■一般会計決算の状況

平成25年度の一般会計の歳入総額は50億3,318万円、歳出総額は49億1,724万円で、前年度と比較して歳入が6.5%の減、歳出で7.2%減となりました。歳入歳出差引額は1億1,594万円となり、繰越事業に充当する6,131万円を差引いた実質収支額は5,463万円の黒字となっています。このうち財政調整基金に4,000万円を積立てし、1,463万円を翌年度への繰越金としました。



■一般会計歳入決算額の内訳

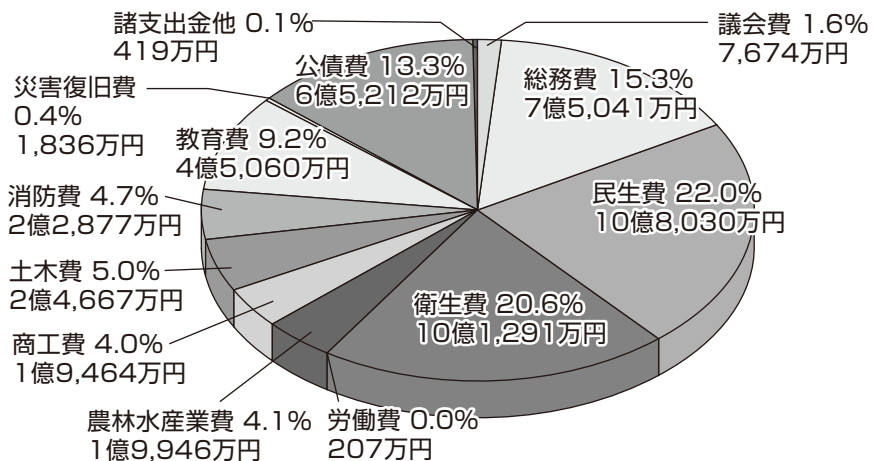
区 分	H25年度決算額	構成比(%)	H24年度決算額	構成比(%)	前年比(%)
町 税	9億0,543万円	17.99	9億2,619万円	17.2	△ 2.2
地 方 譲 与 税	5,656万円	1.12	5,965万円	1.1	△ 5.2
利 子 割 交 付 金	202万円	0.04	179万円	0.0	12.8
配 当 割 交 付 金	298万円	0.06	155万円	0.0	92.3
株式等譲渡所得割交付金	470万円	0.09	48万円	0.0	879.2
地 方 消 費 税 交 付 金	7,924万円	1.57	7,993万円	1.5	△ 0.9
ゴルフ場利用税交付金	1,647万円	0.33	1,566万円	0.3	5.2
自動車取得税交付金	1,727万円	0.34	1,915万円	0.4	△ 9.8
地 方 特 例 交 付 金	113万円	0.02	111万円	0.0	1.8
地 方 交 付 税	24億0,627万円	47.81	26億2,189万円	48.7	△ 8.2
交通安全対策特別交付金	147万円	0.03	149万円	0.0	△ 1.3
分 担 金 ・ 負 担 金	5,305万円	1.05	5,410万円	1.0	△ 1.9
使 用 料 ・ 手 数 料	5,859万円	1.16	5,920万円	1.1	△ 1.0
国 庫 支 出 金	5億2,479万円	10.43	4億0,619万円	7.5	29.2
県 支 出 金	3億1,736万円	6.31	3億5,824万円	6.7	△ 11.4
財 産 収 入	427万円	0.08	455万円	0.1	△ 6.2
寄 附 金	1,223万円	0.24	336万円	0.1	264.0
繰 入 金	266万円	0.05	278万円	0.1	△ 4.3
繰 越 金	4,799万円	0.95	2,870万円	0.5	67.2
諸 収 入	9,330万円	1.85	1億1,067万円	2.1	△ 15.7
町 債	4億2,540万円	8.45	6億2,740万円	11.7	△ 32.2
合 計	50億3,318万円	100.00	53億8,408万円	100.0	△ 6.5



歳出 49億1,724万円

町民1人当たりが納めた税金
10万6千円

町民1人当りに使われたお金
57万5千円



■一般会計歳出決算額（目的別）の内訳

区	分	H25年度決算額	構成比(%)	H24年度決算額	構成比(%)	前年比(%)
議	会	7,674万円	1.6	8,100万円	1.5	△ 5.3
総	務	7億5,041万円	15.3	6億8,983万円	13.0	8.8
民	生	10億8,030万円	22.0	10億9,975万円	20.8	△ 1.8
衛	生	10億1,291万円	20.6	13億9,124万円	26.3	△ 27.2
労	働	207万円	0.0	207万円	0.0	0.0
農	林	1億9,946万円	4.1	1億7,429万円	3.3	14.4
商	工	1億9,464万円	4.0	1億3,831万円	2.6	40.7
土	木	2億4,667万円	5.0	1億9,447万円	3.7	26.8
消	防	2億2,877万円	4.7	2億9,120万円	5.5	△ 21.4
教	育	4億5,060万円	9.2	5億8,289万円	11.0	△ 22.7
災	害	1,836万円	0.4	0万円	0.0	100.0
公	債	6億5,212万円	13.3	6億4,637万円	12.2	0.9
諸	支	419万円	0.1	466万円	0.1	△ 10.1
合	計	49億1,724万円	100.0	52億9,608万円	100.0	△ 7.2

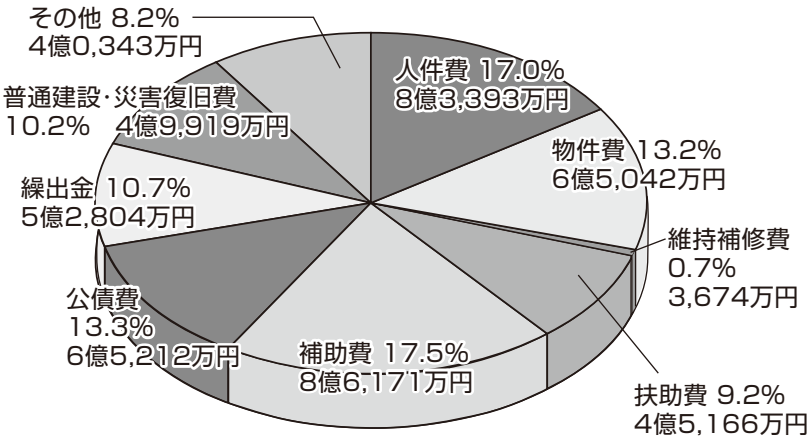
人 口 8,559人（平成26年3月31日現在）

歳入歳出差引額 1億1,594万円

財政調整基金積立 4,000万円
翌年度繰越金 1,463万円
繰越事業分繰越金 6,131万円

■一般会計性質別歳出決算額の内訳

区 分	H25年度決算額	構成比(%)	H24年度決算額	構成比(%)	前年比(%)
人 件 費	8億3,393万円	17.0	8億3,287万円	15.7	0.1
物 件 費	6億5,042万円	13.2	7億2,775万円	13.7	△ 10.6
維 持 補 修 費	3,674万円	0.7	3,065万円	0.6	19.9
扶 助 費	4億5,166万円	9.2	4億6,927万円	8.9	△ 3.8
補 助 費	8億6,171万円	17.5	10億4,487万円	19.7	△ 17.5
公 債 費	6億5,212万円	13.3	6億4,637万円	12.2	0.9
繰 出 金	5億2,804万円	10.7	5億2,072万円	9.8	1.4
普通建設・災害復旧事業費	4億9,919万円	10.2	5億2,020万円	9.8	△ 4.0
そ の 他	4億0,343万円	8.2	5億0,338万円	9.5	△ 19.9
合 計	49億1,724万円	100.0	52億9,608万円	100.0	△ 7.2



■特別会計決算の内訳

区 分	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	差 引 額
国 民 健 康 保 険	11億4,558万円	11億2,872万円	1,686万円
後 期 高 齢 者 医 療	1億2,863万円	1億2,789万円	74万円
介 護 保 険	12億6,054万円	12億4,657万円	1,397万円
簡 易 水 道 事 業	1億7,146万円	1億6,904万円	242万円
浄 化 槽 整 備 事 業	6,167万円	6,117万円	50万円



▲自然史館展示室改修



▲厚生病院

地方債の状況（町が国等から借入れた起債）

◎会計別現在高

区 分	平成24年度末残高	平成25年度中		平成25年度末残高
		償還額（元金）	借入額	
一 般 会 計	56億4,005万円	5億9,016万円	4億2,540万円	54億7,529万円
公営企業(上水道・ガス)	14億1,103万円	1億0,056万円	3,250万円	13億4,297万円
簡 易 水 道 事 業	1億7,824万円	1,556万円	6,640万円	2億2,908万円
浄 化 槽 整 備 事 業	6,077万円	363万円	2,030万円	7,744万円
合 計	72億9,009万円	7億0,991万円	5億4,460万円	71億2,478万円

◎目的別現在高（一般会計分）

区 分	平成25年度末残高	対 象 事 業 等
総 務 債	4億1,829万円	馬山運動場、町営バス購入等
民 生 債	206万円	特養老人ホーム建設費負担金
衛 生 債	6億3,109万円	下仁田厚生病院改築、水道会計への出資
農 林 水 産 業 債	2億1,920万円	農林道開設改良、集会所建設等
商 工 債	9,245万円	遊歩道、観光看板、公園整備及び道の駅「しもにた」建設等
土 木 債	4億9,626万円	道路橋梁新設改良及び公営住宅建設等
消 防 債	2億7,143万円	防火水槽整備、消防車購入、防災行政無線施設整備等
教 育 債	10億5,067万円	義務教育施設（校舎、屋体、プール）、社会体育施設整備等
災 害 復 旧 債	5,196万円	農林業施設・教育施設及び公共土木施設災害復旧事業
そ の 他	22億4,188万円	臨時財政対策債、減税補てん債、減収補てん債等
合 計	54億7,529万円	



▲町営バス（14人乗り）



▲防火水槽（馬山若宮地内）

■健全化判断比率及び資金不足比率

平成19年度に【地方公共団体の財政の健全化に関する法律】が制定されたことに伴い、毎年度の決算における健全化判断比率及び資金不足比率(以下「健全化判断比率」といいます。)の算定・公表が義務付けられました。

健全な本町の財政状況

健全化判断比率等のいずれかが基準以上となった場合には、財政健全化計画を策定し財政健全化に向けた取組が必要となりますが、平成25年度の算定結果では、全ての指標において基準値を下回りました。このことから、町の財政状況は健全な状態にあります。より一層の財政健全化を進めてまいります。

各指標の数値は、次のとおりとなっております。



1.健全化判断比率

◆実質赤字比率 = 赤字額なし

一般会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標で、平成25年度の一般会計の収支決算額は黒字のため該当はありません。

◆連結実質赤字比率 = 赤字額なし

一般会計、特別会計、公営企業会計等すべての会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標で、一般会計をはじめとして全会計で収支決算額が黒字のため該当はありません。

◆実質公債費比率 = 9.8%

一般会計などの実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標で、早期健全化基準の25%を15.2ポイント下回っています。

◆将来負担比率 = 74.2%

一般会計などが将来負担すべき実質的な負債(一般会計の借入金や土地開発公社の負債など)の残高が、標準的な収入に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標で、早期健全化基準の350%を大きく下回っています。

下仁田町の健全化判断比率の状況

指標項目	健全化判断比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字額なし	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字額なし	20.00%	30.00%
実質公債費比率	9.8%	25.00%	35.00%
将来負担比率	74.2%	350.00%	

2.資金不足比率

◆資金不足比率 = 資金不足なし

各公営企業会計の資金不足額が、事業の規模に対してどのくらいの割合になるのかを示す指標で、それぞれの会計ともに資金不足はありませんでした。

下仁田町の資金不足比率の状況

会計名等	資金不足比率	早期健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	20.00%
ガス事業会計	資金不足なし	
簡易水道事業会計	資金不足なし	
浄化槽整備事業会計	資金不足なし	



平成25年度 下仁田町公営企業決算状況

公営企業は、一般世帯数の減少等に伴い年々収益が減少する厳しい状況です。

常に安心・安全・安定を届けるために効率的な運営を心がけ、ライフラインの維持管理や老朽化が進む施設の更新に努めています。

水道事業 当年度純利益 884万円

下仁田町水道事業会計決算

(消費税を含みます)

収益的収入	1億6,344万円	*資本的収入が資本的支出に対して不足する	
収益的支出	1億5,513万円	額は次のとおり補てんしました。	
資本的収入	6,807万円	当年度分損益勘定留保資金	5,212万円
資本的支出	1億2,019万円	※翌年度繰越金	1,166万円
不足額*	5,212万円		



下仁田町水道事業損益計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(消費税を含みません)

営業収益	1億3,517万円	
営業費用	1億2,219万円	
営業利益		1,298万円
営業外収益	2,154万円	
営業外費用	2,568万円	△414万円
経常利益		884万円
当年度純利益		884万円

下仁田町水道事業貸借対照表

(平成26年3月31日)

(消費税を含みません)

資産の部		負債の部	
固定資産	29億1,561万円	固定負債	2,177万円
流動資産	1億2,769万円	流動負債	414万円
		負債合計	2,591万円
		資本の部	
		資本金	17億804万円
		剰余金	13億935万円
		資本合計	30億1,739万円
資産合計	30億4,330万円	負債・資本合計	30億4,330万円

ガス事業 当年度純利益 1,649万円

下仁田町ガス事業会計決算

(消費税を含みます)

収益的収入	2億4,758万円	*資本的収入が資本的支出に対して不足する	
収益的支出	2億2,718万円	額は次のとおり補てんしました。	
資本的収入	1,930万円	当年度分消費税資本的収支調整額	127万円
資本的支出	4,252万円	過年度分損益勘定留保資金	2,180万円
不足額*	2,322万円	当年度分損益勘定留保資金	15万円



下仁田町ガス事業損益計算書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

(消費税を含みません)

営業収益	2億3,401万円	
営業費用	2億1,863万円	
営業利益		1,538万円
営業外収益	187万円	
営業外費用	76万円	111万円
経常利益		1,649万円
当年度純利益		1,649万円

下仁田町ガス事業貸借対照表

(平成26年3月31日)

(消費税を含みません)

資産の部		負債の部	
固定資産	2億9,368万円	固定負債	744万円
流動資産	1億447万円	流動負債	829万円
		負債合計	1,573万円
		資本の部	
		資本金	2億1,757万円
		剰余金	1億6,485万円
		資本合計	3億8,242万円
資産合計	3億9,815万円	負債・資本合計	3億9,815万円